

鬼石病院事業会計

令和元年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

(1) 決算書

令和元年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業決算報告書

同	損益計算書
同	剰余金計算書
同	欠損金処理計算書(案)
同	貸借対照表
同	キャッシュ・フロー計算書

(2) 決算付属書類

令和元年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業報告書

令和元年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計収益費用明細書

同	資本的収入支出明細書
同	固定資産明細書
同	企業債明細書

第2 審査の期間

令和2年6月17日から同年8月11日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から提出された決算書及び決算付属書類が、関係法令の規定に従い作成されているか、また事業の財政状況及び経営成績を適正に表示しているかを検証するため、総勘定元帳をはじめ関係諸帳簿及び証拠書類等の照合確認のほか、貯蔵品については棚卸に立合い、確認をした。

次に、経営内容を把握するため計数の確認分析を行い、事業運営が地方公営企業法第3条の趣旨に従ってなされているかを主眼に審査を行い、必要に応じて担当職員の説明を聴取した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書及び財務諸表は、地方公営企業法及び関係法令の定めるところにより作成されており、この会計処理については、公営企業会計の原則に準拠して行われ、その計数は正確であり、関係諸帳簿と一致している。

事業の経営成績及び財政状況は適正に表示されているものと認めた。

なお、現金の年度末残高は病院事業出納取扱金融機関の預金残高と一致していた。

病院事業

第5 審査の概要

1 業務状況

(1) 病床利用状況

区 分	一般病床	療養病床	令和元年度	平成30年度
許可病床数(床)	52	47	99	99
年間許可病床数(床)	19,032	17,202	36,234	36,135
延患者数(人)	17,325	14,701	32,026	32,531
1日平均患者数(人)	47.3	40.2	87.5	89.1
病床利用率(%)	91.0	85.5	88.4	90.0

令和元年度における延許可病床数は36,234床で、延患者数は32,026人である。

(2) 患者数及び料金収益

(消費税抜)

区 分		令和元年度	平成30年度	増 減	増減率	
入	患者数 (人)	延 患 者 数	32,026	32,531	△ 505	△ 1.6
		1日平均患者数	87.5	89.1	△ 1.6	△ 1.8
院	料金収入 (円)	総 額	819,790,818	841,186,919	△ 21,396,101	△ 2.5
		1人1日平均	25,598	25,858	△ 260	△ 1.0
外	患者数 (人)	延 患 者 数	20,706	21,214	△ 508	△ 2.4
		1日平均患者数	71.2	72.7	△ 1.5	△ 2.1
来	料金収入 (円)	総 額	131,829,976	141,347,751	△ 9,517,775	△ 6.7
		1人1日平均	6,367	6,663	△ 296	△ 4.4

令和元年度における入院患者数は32,026人で、前年度と比較して505人(1.6%)減少している。また、年間外来患者数は20,706人で、前年度と比較して508人(2.4%)減少し、一日平均では1.5人の減少となっている。

料金収入は、入院では819,790,818円で前年度と比較して21,396,101円(2.5%)減少し、外来については131,829,976円で前年度と比較して9,517,775円(6.7%)の減少となっている。

なお、過去3年間の病院業務の概要は別表1のとおりである。

2 決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
医 業 収 益	966,813,000	976,610,085	9,797,085	101.0
医 業 外 収 益	184,179,000	185,168,674	989,674	100.5
特 別 利 益	2,000	0	△ 2,000	0
訪問看護ステーション収益	24,748,000	26,100,888	1,352,888	105.5
計	1,175,742,000	1,187,879,647	12,137,647	101.0

病院事業収益の決算額は1,187,879,647円で、予算額1,175,742,000円に対して101.0%の収入率であり、前年度決算額1,202,745,221円と比較して14,865,574円(1.2%)の減少となっている。

収入内訳は、医業収益976,610,085円、医業外収益185,168,674円、訪問看護ステーション収益26,100,888円となっている。

支 出

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
医 業 費 用	1,225,288,000	1,202,275,172	0	23,012,828	98.1
医 業 外 費 用	18,379,000	15,752,527	0	2,626,473	85.7
特 別 損 失	502,000	0	0	502,000	0
訪問看護ステーション費用	32,524,000	31,931,811	0	592,189	98.2
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0
計	1,277,693,000	1,249,959,510	0	27,733,490	97.8

病院事業費用の決算額は1,249,959,510円で、予算額1,277,693,000円に対して97.8%の執行率であり、前年度決算額1,200,907,191円と比較して49,052,319円(4.1%)の増加となっている。

病院事業収益決算額1,187,879,647円(うち仮受消費税及び地方消費税2,587,265円)に対し、病院事業費用決算額は1,249,959,510円(うち仮払消費税及び地方消費税21,965,807円)で、当期決算の収支差額(収入-支出)は△62,079,863円であり、前年度の1,838,030円と比較すると、63,917,893円の減少となっている。主な要因として、患者数の減少や人件費の増加があげられる。

なお、詳細については、病院事業会計予算決算対照表(別表2)のとおりである。

病院事業

(2) 資本的収入及び支出

収 入		(単位：円・%) 消費税込み		
区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
企 業 債	10,500,000	10,500,000	0	100.0
他 会 計 補 助 金	45,460,000	44,949,041	△ 510,959	98.9
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0
計	55,961,000	55,449,041	△ 511,959	99.1

資本的収入の決算額は55,449,041円で、予算額55,961,000円に対して99.1%の収入率であり、前年度決算額98,714,111円と比較して43,265,070円(43.8%)の減少となっている。他会計補助金の内訳は、企業債償還元金分32,210,041円、過疎債10,500,000円、国保調整交付金2,239,000円である。

支 出		(単位：円・%) 消費税込み			
区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
建 設 改 良 費	28,008,000	26,023,156	0	1,984,844	92.9
企 業 債 償 還 金	50,753,000	50,752,731	0	269	100.0
計	78,761,000	76,775,887	0	1,985,113	97.5

資本的支出の決算額は76,775,887円で、予算額78,761,000円に対して97.5%の執行率であり、前年度決算額124,633,342円と比較して47,857,455円(38.4%)の減少となっている。

また、当年度に実施された建設改良費は、医療器械購入費20,636,988円、リース債務支払費1,371,168円、工事請負費4,015,000円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額21,326,846円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額50,157円と過年度分損益勘定留保資金21,276,689円で補っている。

3 損益計算書

(1) 経営状況

当年度の経営実績は、事業収益が1,185,921,689円と対前年度1.2%減少したのに対し、事業費用は1,248,139,103円と対前年度4.1%の増加となり、差し引き62,217,414円の損失を計上している。公営企業の収支内容を示す総収支比率（別表5）は、95.0%で前年度と比較して5.1ポイント低下している。

また、経営状態を示す医業収支比率（別表5）も、82.6%で前年度と比較して6.7ポイント低下している。

なお、経営状況は損益計算書前年度比較表（別表3）のとおりである。

主要科目の状況を前年度と比較すると次表のとおりである。

収益費用の前年度比較表 (単位：円・%) 消費税抜き

区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
(事業収益)	1,185,921,689	1,200,880,414	△14,958,725	△1.2
医業収益	974,537,605	1,006,948,243	△32,410,638	△3.2
医業外収益	185,391,404	169,509,464	15,881,940	9.4
訪問看護ステーション収益	25,992,680	24,422,707	1,569,973	6.4
特別利益	0	0	0	0
(事業費用)	1,248,139,103	1,199,234,631	48,904,472	4.1
医業費用	1,180,434,255	1,127,122,861	53,311,394	4.7
医業外費用	35,893,271	38,228,716	△2,335,445	△6.1
訪問看護ステーション費用	31,811,577	33,883,054	△2,071,477	△6.1
特別損失	0	0	0	0
純利益(△純損失)	△62,217,414	1,645,783	△63,863,197	△3,880.4

(2) 事業収益

事業収益のうち医業収益は、前年度と比較して32,410,638円(3.2%)減少している。これは患者数が入院・外来とも減少したことが主な要因である。

(3) 事業費用

事業費用のうち医業費用は、前年度と比較して53,311,394円(4.7%)増加している。これは主に、給与費が前年度と比較して64,585,482円(8.4%)増加したことが要因である。

医業外費用は、前年度比2,335,445円(6.1%)の減少となっている。これは企業債利息が前年度と比較して2,281,968円(21.0%)減少したことが主な要因である。

4 剰余金計算書

利益剰余金は、前年度末残高△1,051,644,769円と当年度純利益△62,217,414円を合計した△1,113,862,183円となっている。

資本剰余金は、前年度末残高 20,615,236円から他会計負担金受入額 1,249,041円が増加され当年度末残高 21,864,277円となった。受贈財産評価額、寄附金、国県補助金については変動はなかった。

資本金も変動はなく、資本合計は前年度末残高 417,731,714円から当年度純利益△62,217,414円と他会計負担金受入額 1,249,041円を合わせ当年度末残高 356,763,341円となった。

5 欠損金処理計算書(案)

当年度未処理欠損金 1,120,362,183円については、全額を翌年度繰越欠損金として計上している。

6 貸借対照表

財政状況の前年度比較表

(単位:円・%)

区 分		令和元年度	平成30年度	増 減 額	増減率	
資 産	固定資産	961,262,562	1,004,291,699	△ 43,029,137	△ 4.3	
	流動資産	526,125,802	518,276,804	7,848,998	1.5	
	合 計	1,487,388,364	1,522,568,503	△ 35,180,139	△ 2.3	
負 債 ・ 資 本	負 債	固定負債	765,023,712	791,097,645	△ 26,073,933	△ 3.3
		流動負債	180,855,008	144,658,848	36,196,160	25.0
		繰延収益	184,746,303	169,080,296	15,666,007	9.3
		計	1,130,625,023	1,104,836,789	25,788,234	2.3
	資 本	資本金	1,448,761,247	1,448,761,247	0	0
		剰余金 (△欠損金)	△ 1,091,997,906	△ 1,031,029,533	△ 60,968,373	5.9
		計	356,763,341	417,731,714	△ 60,968,373	△ 14.6
	合 計	1,487,388,364	1,522,568,503	△ 35,180,139	△ 2.3	

(1) 資 産

当年度末の資産合計は1,487,388,364円で、前年度と比較して35,180,139円(2.3%)減少している。固定資産は961,262,562円で、前年度と比較して43,029,137円(4.3%)の減少、流動資産は526,125,802円で、前年度と比較して7,848,998円(1.5%)増加している。

(2) 負 債

当年度末の負債合計は1,130,625,023円で、前年度と比較して25,788,234円(2.3%)増加している。固定負債は765,023,712円で、前年度と比較して26,073,933円(3.3%)の減少、流動負債は180,855,008円で、前年度と比較して36,196,160円(25.0%)の増加である。また、繰延収益は184,746,303円で、前年度と比較して15,666,007円(9.3%)の増加であった。

(3) 資 本

当年度末の資本合計は356,763,341円で、前年度と比較して60,968,373円(14.6%)減少している。資本金は1,448,761,247円で、前年度と同額であり、欠損金は1,091,997,906円で、前年度と比較して60,968,373円(5.9%)増加している。

なお、詳細は、別表4のとおりである。

病院事業

7 企業債の償還

令和元年度における企業債償還状況と、入院外来収益に対する償還比率の推移を示すと次表のとおりである。

企業債償還状況と償還比率表

(単位：円・%)

年度	入院外来収益 (A)	企業債元利償還金			未償還残高	償還 比率
		元 金	利 息	計(B)		
20	911,707,391	26,903,526	28,272,798	55,176,324	907,760,552	6.1
21	928,386,127	27,438,928	27,110,315	54,549,243	908,521,624	5.9
22	936,586,987	40,726,270	25,962,762	66,689,032	875,095,354	7.1
23	867,669,589	57,889,393	24,474,371	82,363,764	819,905,961	9.5
24	847,397,146	60,039,498	22,727,523	82,767,021	766,366,463	9.8
25	874,959,017	60,980,953	20,914,689	81,895,642	723,185,510	9.4
26	888,652,508	59,793,542	19,071,781	78,865,323	663,391,968	8.9
27	898,754,461	59,052,254	17,134,456	76,186,710	615,139,714	8.5
28	820,754,652	59,216,257	15,135,409	74,351,666	571,223,457	9.1
29	896,298,768	63,327,980	13,041,145	76,369,125	520,795,477	8.5
30	982,534,670	67,717,774	10,848,325	78,566,099	480,777,703	8.0
元	951,620,794	50,752,731	8,566,357	59,319,088	440,524,972	6.2

(注) 償還比率は $B/A \times 100$

上表で示すとおり、当年度における企業債元利償還金は 59,319,088 円で、前年度と比較して 19,247,011 円 (24.5%) 減少している。

また、入院外来収益に対する企業債元利償還金は 6.2% で、前年度と比較して 1.8 ポイント低下した。

8 むすび

令和元年度の鬼石病院の年間延患者数は、入院患者 32,026 人、外来患者 20,706 人で、前年度と比較し入院患者数が 505 人、外来患者数が 508 人減少した。

また、病床利用率については、平成 22 年度までは 95% 以上の高水準を維持してきたが、平成 23 年度から低下傾向となり、平成 28 年度には 80.9% まで低下したものの、平成 30 年度は 90.0%、令和元年度は 88.4% と回復のきざしをみせている。

地域別の患者構成を見ると、入院患者は鬼石地区が 31.1%、藤岡地区が 30.2%、その他県内（神流町、上野村等）が 10.4%、県外（近接する埼玉県神川町等）が 28.3% となっている。また、外来患者は、鬼石地区 62.0%、藤岡地区 5.9%、その他県内 2.4%、県外 29.7% であり、地域医療の中核的な役割を担っている。

経営状況について見ると、平成 20 年度から欠損金が生じている中で、昨年度は 1,645,783 円の純利益を計上したが、令和元年度の損益勘定収支は事業収益 1,185,921,689 円に対し、事業費用 1,248,139,103 円で、差し引き 62,217,414 円の純損失となった。平成 28 年度に地域連携室を設置したことによる入院患者数の増加で回復のきざしを見せはじめていたが、純損失を計上するに至った。過疎地域・山間僻地における医療供給体制は、通院困難者の問題、急速な高齢化の進行、老人単独世帯の増加、医師・看護師等医療スタッフの確保、その他多くの問題を抱えている。しかし令和元年度より群馬大学の教授が外来診療をしており、これを弾みに医業収益の回復を望みたい。

経営指標の一つである医業収支比率（医業収益／医業費用×100）を見ると平成 21 年度 91.9% であったものが、平成 28 年度には 77.9% まで悪化した。令和元年度は 82.6% まで回復している。

総収支比率（総収益／総費用×100）については、令和元年度は 95.0% であり、前年度の 100.1% に比べ、5.1 ポイント低下している。主な原因は入院収益及び外来収益の減少や人件費の増加によるものである。

キャッシュ・フロー計算書によると、業務活動によるキャッシュ・フローは 25,337,239 円、投資活動によるものは 21,058,841 円、財務活動によるものは△40,252,731 円であり、現金及び現金同等物の期末残高は 317,781,633 円となった。期首残高と比較すると、当期は 6,143,349 円の増となっているが、これは他会計からの補助金によるものが大きく、当年度純損失として 62,217,414 円の赤字となっているので、経営状況は依然として厳しい状況にあると考えられる（別表 5）。

地域の人口減少、高齢化、診療報酬改定など病院経営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、経営悪化の大きな要因は医師の不足である。昨年度の黒字転換の要因は、「地域包括ケア病棟入院料」を取り入れたことで安定した入院単価が得られたこと等であったが、今年度は人件費が前年比 108.8% となり患者数の減少により入院収益が前年比 97.5%、外来収益においても前年比 93.3% となり赤字決算となった。

平成 28 年度に作成された新藤岡市国民健康保険鬼石病院改革プランに基づき、より抜本的な経営改革を図り、地域の中核病院として、住民が健康で安心して生活できる良質な医療が安定的に提供されるよう強く望むものである。

別 表

病院業務の概要

別表 1

①職員体制の推移

人

職 種	令和元年度			平成30年度			平成29年度		
	年度末職員数	比較	嘱託・パート	年度末職員数	比較	嘱託・パート	年度末職員数	比較	嘱託・パート
医 師	3	0	0	3	0	2	3	0	2
看 護 師	40	2	0	38	3	3	35	2	4
准 看 護 師	16	0	0	16	△ 4	4	20	△ 2	3
薬 剤 師	1	△ 2	0	3	3	1	0	△ 3	2
診療放射線技師	2	0	0	2	0	1	2	0	1
臨床検査技師	3	0	0	3	1	1	2	0	1
理学療法士・作業療法士 ・言語聴覚士	10	0	0	10	0	0	10	0	0
視能訓練士	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士	2	0	0	2	0	0	2	1	0
事務職員	10	0	0	10	0	2	10	1	1
介護員・看護助手	12	3	0	9	3	9	6	△ 1	9
計	99	3	0	96	6	23	90	△ 2	23

②入院患者数の推移

人

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度		
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	
一 般	内 科	4,349	△ 1,078	5,427	△ 1,742	7,169	△ 797
	外 科	12,976	738	12,238	2,607	9,631	2,518
	眼 科	0	0	0	0	0	0
一般病床 計	17,325	△ 340	17,665	865	16,800	1,721	
療養病床 計	14,701	△ 165	14,866	428	14,438	295	
合計	32,026	△ 505	32,531	1,293	31,238	2,016	

③病床利用率の推移

%

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	病床利用率	比較	病床利用率	比較	病床利用率	比較
一般病床	91.0	△ 2.1	93.1	4.6	88.5	9.1
療養病床	85.5	△ 1.2	86.7	2.5	84.2	1.8
計	88.4	△ 1.6	90.0	3.6	86.4	5.5

④外来患者数の推移

人

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較
内 科	12,807	100	12,707	△ 1,373	14,080	△ 1,206
外 科	5,982	△ 55	6,037	491	5,546	682
整形外科	1,167	△ 521	1,688	△ 127	1,815	132
眼 科	592	△ 10	602	16	586	9
皮膚科	158	△ 22	180	58	122	122
計	20,706	△ 508	21,214	△ 935	22,149	△ 261

⑤地域別患者数の推移

人

入 院 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
平成29年度	10,390	8,825	19,215	3,798	8,225	31,238
平成30年度	9,247	11,091	20,338	3,832	8,361	32,531
令和元年度	9,972	9,666	19,638	3,340	9,048	32,026
地区別割合(3カ年平均)	30.9%	30.9%	61.8%	11.5%	26.8%	100.0%
外 来 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
平成29年度	13,077	1,208	14,285	794	7,070	22,149
平成30年度	12,628	1,316	13,944	654	6,616	21,214
令和元年度	12,833	1,227	14,060	502	6,144	20,706
地区別割合(3カ年平均)	60.2%	5.9%	66.0%	3.0%	31.0%	100.0%

別表1(続き)

(消費税抜き)(単位:円)

科目		令和元年度		平成30年度		平成29年度		
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	
医業収益	入院収益	819,790,818	69.1	841,186,919	70.1	756,459,941	66.6	
	外来収益	131,829,976	11.1	141,347,751	11.8	139,838,827	12.3	
	その他医業収益	22,916,811	2.0	24,413,573	2.0	21,869,525	2.0	
	計	974,537,605	82.2	1,006,948,243	83.9	918,168,293	80.9	
医業費用	給与費	831,288,500	66.6	766,703,018	63.9	790,546,387	66.2	
	材料費	薬品費	44,347,257	3.5	47,486,862	4.0	41,528,945	3.5
		診療材料費、医療消耗備品費等	60,698,205	4.9	66,204,044	5.5	64,291,106	5.4
	減価償却費	64,845,237	5.1	65,331,183	5.4	69,156,333	5.8	
	資産減耗費	804,500	0.1	1,744,900	0.1	490,998	0.0	
	経費等	委託料	107,261,401	8.6	105,157,655	8.8	105,264,983	8.8
		その他	71,189,155	5.7	74,495,199	6.2	66,063,840	5.5
	計	1,180,434,255	94.6	1,127,122,861	94.0	1,137,342,592	95.2	
医業損益		△ 205,896,650	—	△ 120,174,618	—	△ 219,174,299	—	
医業外収益	受取利息及び配当金	45,471	0.0	70,163	0.0	102,876	0.0	
	他会計補助金	100,152,240	8.4	92,151,281	7.7	89,886,416	7.9	
	負担金交付金	52,136,127	4.4	45,763,433	3.8	68,677,561	6.0	
	その他	33,057,566	2.8	31,524,587	2.6	33,916,399	3.0	
	計	185,391,404	15.6	169,509,464	14.1	192,583,252	16.9	
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	8,659,669	0.7	10,941,637	0.9	13,134,457	1.1	
	その他	27,233,602	2.2	27,287,079	2.3	24,090,057	2.0	
	計	35,893,271	2.9	38,228,716	3.2	37,224,514	3.1	
医業外損益		149,498,133	—	131,280,748	—	155,358,738	—	
訪問看護収益	訪問看護ステーション収益	24,780,888	2.1	24,422,707	2.0	23,527,838	2.1	
	その他	1,211,792	0.1	0	0	1,200,005	0.1	
	計	25,992,680	2.2	24,422,707	2.0	24,727,843	2.2	
訪問看護費用	給与費	30,576,769	2.4	32,689,801	2.7	19,165,283	1.6	
	経費	1,234,808	0.1	1,193,253	0.1	980,309	0.1	
	計	31,811,577	2.5	33,883,054	2.8	20,145,592	1.7	
訪問看護ステーション損益		△ 5,818,897	—	△ 9,460,347	—	4,582,251	—	
特別	利益	0	0	0	0	0	0	
	損失	0	0	0	0	0	0	
特別損益		0	—	0	—	0	—	
純損益		△ 62,217,414	—	1,645,783	—	△ 59,233,310	—	

病院事業会計予算決算対照表

別表2

1. 収益的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

(消費税込み) (単位:円、△印減、%)

科目	区分		予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比	科目	区分		予算額	決算額	地方公営企業法第26条第2項繰越額	不用額	執行率	構成比
1 医業収益			966,813,000	976,610,085	9,797,085	101.0	82.2	1 医業費用			1,225,288,000	1,202,275,172	0	23,012,828	98.1	96.2
(1) 入院収益			811,642,000	819,834,385	8,192,385	101.0	69.0	(1) 給与費			835,908,000	832,075,118	0	3,832,882	99.5	66.6
(2) 外来収益			132,565,000	131,786,409	△ 778,591	99.4	11.1	(2) 材料費			117,900,000	110,587,603	0	7,312,397	93.8	8.8
(3) その他医業収益			22,606,000	24,989,291	2,383,291	110.5	2.1	(3) 経費			203,138,000	191,754,011	0	11,383,989	94.4	15.3
								(4) 減価償却費			65,042,000	64,845,237	0	196,763	99.7	5.2
2 医業外収益			184,179,000	185,168,674	989,674	100.5	15.6	(5) 資産減耗費			1,015,000	804,500	0	210,500	79.3	0.1
(1) 受取利息及び配当金			70,000	45,471	△ 24,529	65.0	0.0	(6) 研究研修費			2,285,000	2,208,703	0	76,297	96.7	0.2
(2) 他会計補助金			100,151,000	100,152,240	1,240	100.0	8.4	2 医業外費用			18,379,000	15,752,527	0	2,626,473	85.7	1.3
(3) 負担金交付金			52,206,000	52,136,127	△ 69,873	99.9	4.4	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費			8,861,000	8,659,669	0	201,331	97.7	0.7
(4) 患者外給食収益			1,000	0	△ 1,000	0	0	(2) 患者外給食材料費			57,000	56,656	0	344	99.4	0.0
(5) 長期前受金戻入			27,933,000	28,033,993	100,993	100.4	2.4	(3) 消費税			1,437,000	1,293,500	0	143,500	90.0	0.1
(6) その他医業外収益			3,818,000	4,227,491	409,491	110.7	0.4	(4) 雑損失			2,000	0	0	2,000	0	0
(7) 雑収益			0	573,352	573,352	-	0.0	(5) 雑支出			8,022,000	5,742,702	0	2,279,298	71.6	0.5
3 特別利益			2,000	0	△ 2,000	0	0	3 特別損失			502,000	0	0	502,000	0	0
(1) 固定資産売却収益			1,000	0	△ 1,000	0	0	(1) 固定資産売却損			1,000	0	0	1,000	0	0
(2) 過年度損益修正益			0	0	0	-	0	(2) 過年度損益修正損			500,000	0	0	500,000	0	0
(3) その他特別利益			1,000	0	△ 1,000	0	0	(3) その他特別損失			1,000	0	0	1,000	0	0
4 訪問看護ステーション収益			24,748,000	26,100,888	1,352,888	105.5	2.2	4 訪問看護ステーション費用			32,524,000	31,931,811	0	592,189	98.2	2.6
(1) 訪問看護収益			24,748,000	26,100,888	1,352,888	105.5	2.2	(1) 給与費			30,760,000	30,606,361	0	153,639	99.5	2.4
								(2) 経費			1,764,000	1,325,450	0	438,550	75.1	0.1
								5 予備費			1,000,000	0	0	1,000,000	0	0
計			1,175,742,000	1,187,879,647	12,137,647	101.0	100.0	計			1,277,693,000	1,249,959,510	0	27,733,490	97.8	100.0

2. 資本的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

科目	区分		予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比	科目	区分		予算額	決算額	地方公営企業法第26条繰越額	不用額	執行率	構成比
1 資本的収入			55,961,000	55,449,041	△ 511,959	99.1	100.0	1 資本的支出			78,761,000	76,775,887	0	1,985,113	97.5	100.0
(1) 企業債			10,500,000	10,500,000	0	100.0	18.9	(1) 建設改良費			28,008,000	26,023,156	0	1,984,844	92.9	33.9
(2) 他会計補助金			45,460,000	44,949,041	△ 510,959	98.9	81.1	(2) 企業債償還金			50,753,000	50,752,731	0	269	100.0	66.1
(3) 固定資産売却代金			1,000	0	△ 1,000	0	0									

損益計算書前年度比較表

(消費税抜き) (単位:円、%)

別表3

科目	区分	令和元年度			平成30年度			平成29年度		
		金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比
(病院事業収益)		1,185,921,689	100.0	98.8	1,200,880,414	100.0	105.8	1,135,479,388	100.0	107.8
医業収益		974,537,605	82.2	96.8	1,006,948,243	83.9	109.7	918,168,293	80.9	109.0
入院収益		819,790,818	69.1	97.5	841,186,919	70.0	111.2	756,459,941	66.6	111.3
外来収益		131,829,976	11.1	93.3	141,347,751	11.8	101.1	139,838,827	12.3	99.2
その他医業収益		22,916,811	2.0	93.9	24,413,573	2.0	111.6	21,869,525	2.0	101.9
医業外収益		185,391,404	15.6	109.4	169,509,464	14.1	88.0	192,583,252	16.9	103.7
受取利息配当金		45,471	0.0	64.8	70,163	0.0	68.2	102,876	0.0	36.7
他会計補助金		100,152,240	8.4	108.7	92,151,281	7.7	102.5	89,886,416	7.9	92.3
負担金交付金		52,136,127	4.4	113.9	45,763,433	3.8	66.6	68,677,561	6.0	128.2
患者外給食収益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
長期前受金戻入		28,033,993	2.4	103.6	27,071,223	2.3	90.4	29,961,234	2.6	98.6
その他医業外収益		3,873,777	0.3	107.3	3,608,644	0.3	107.7	3,349,362	0.3	92.9
雑収益		1,149,796	0.1	136.1	844,720	0.1	139.4	605,803	0.1	119.9
訪問看護ステーション収益		25,992,680	2.2	106.4	24,422,707	2.0	98.8	24,727,843	2.2	98.8
訪問看護収益		25,992,680	2.2	106.4	24,422,707	2.0	98.8	24,727,843	2.2	98.8
特別利益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
特別利益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
(病院事業費用)		1,248,139,103	100.0	104.1	1,199,234,631	100.0	100.4	1,194,712,698	100.0	105.0
医業費用		1,180,434,255	94.6	104.7	1,127,122,861	94.0	99.1	1,137,342,592	95.2	105.2
給与費		831,288,500	66.6	108.4	766,703,018	63.9	97.0	790,546,387	66.2	104.2
材料費		105,045,462	8.4	92.4	113,690,906	9.5	107.4	105,820,051	8.9	107.7
経費		176,427,758	14.1	99.2	177,789,842	14.8	104.8	169,648,387	14.2	114.5
減価償却費		64,845,237	5.2	99.3	65,331,183	5.4	94.5	69,156,333	5.8	96.0
資産減耗費		804,500	0.1	46.1	1,744,900	0.1	355.4	490,998	0.0	29.8
研究研修費		2,022,798	0.2	108.6	1,863,012	0.2	110.9	1,680,436	0.1	105.0
医業外費用		35,893,271	2.9	93.9	38,228,716	3.2	102.7	37,224,514	3.1	98.9
支払利息及び企業債取扱諸費		8,659,669	0.7	79.1	10,941,637	0.9	83.3	13,134,457	1.1	86.2
患者外給食材料費		52,000	0.0	127.5	40,800	0.0	121.4	33,600	0.0	76.4
消費税及び地方消費税		0	0	—	0	0	—	0	0	—
雑損失		0	0	—	0	0	—	0	0	皆減
雑支出		27,181,602	2.2	99.8	27,246,279	2.3	113.3	24,056,457	2.0	107.8
訪問看護ステーション費用		31,811,577	2.5	93.9	33,883,054	2.8	168.2	20,145,592	1.7	101.6
給与費		30,576,769	2.4	93.5	32,689,801	2.7	170.6	19,165,283	1.6	101.3
経費		1,234,808	0.1	103.5	1,193,253	0.1	121.7	980,309	0.1	107.7
特別損失		0	0	—	0	0	—	0	0	—
特別損失		0	0	—	0	0	—	0	0	—
(当年度純利益)		△ 62,217,414		△ 3,780.4	1,645,783		2.8	△ 59,233,310		△ 69.5
前年度繰越利益剰余金		△ 1,058,144,769		△ 99.8	△ 1,059,790,552		△ 105.9	△ 1,000,557,242		△ 109.3
その他未処分利益剰余金変動額		0		—	0		—	0		—
当年度未処分利益剰余金		△ 1,120,362,183		△ 105.9	△ 1,058,144,769		△ 99.8	△ 1,059,790,552		△ 105.9

貸借対照表前年度比較表

別表4 (△印減、単位:円%)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
区 分 科 目	金 額			増 減 率	区 分 科 目	金 額			増 減 率
	令和元年度	平成30年度	増 減			令和元年度	平成30年度	増 減	
1 固定資産	961,262,562	1,004,291,699	△ 43,029,137	△ 4.3	4 流動負債	180,855,008	144,658,848	36,196,160	25.0
(1)有形固定資産	960,943,056	1,003,972,193	△ 43,029,137	△ 4.3	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,385,413	50,752,731	△ 9,367,318	△ 18.5
イ土地	31,705,876	31,705,876	0	0	(2)リース債務	952,200	1,269,600	△ 317,400	△ 25
ロ建物	803,779,366	842,394,411	△ 38,615,045	△ 4.6	(3)未払金	77,474,346	39,018,687	38,455,659	98.6
ハ構築物	2,345,813	2,446,596	△ 100,783	△ 4.1	(4)引当金	58,517,000	51,090,000	7,427,000	14.5
ニ器械・備品	119,675,868	122,372,374	△ 2,696,506	△ 2.2	イ退職給付引当金	0	0	0	—
ホ車両	1,658,693	2,132,856	△ 474,163	△ 22.2	ロ賞与引当金	48,925,000	43,040,000	5,885,000	13.7
ヘリース資産	1,777,440	2,920,080	△ 1,142,640	△ 39.1	ハ法定福利費引当金	9,592,000	8,050,000	1,542,000	19.2
ト建設仮勘定	0	0	0	—	(5)その他流動負債	2,526,049	2,527,830	△ 1,781	△ 0.1
(2)無形固定資産	319,506	319,506	0	0	イ預り金	2,526,049	2,527,830	△ 1,781	△ 0.1
イ加入権	319,506	319,506	0	0	5 繰延収益	184,746,303	169,080,296	15,666,007	9.3
ロソフトウェア	0	0	0	—	長期前受金	398,753,000	355,053,000	43,700,000	12.3
(3)投資その他の資産	0	0	0	—	長期前受金収益化累計額	△ 214,006,697	△ 185,972,704	△ 28,033,993	15.1
2 流動資産	526,125,802	518,276,804	7,848,998	1.5	6 資本金	1,448,761,247	1,448,761,247	0	0
(1)現金預金	317,781,633	311,638,284	6,143,349	2.0	(1)資本金	1,448,761,247	1,448,761,247	0	0
(2)未収金	206,382,378	204,338,473	2,043,905	1.0	イ繰入資本金	1,348,761,247	1,348,761,247	0	0
貸倒引当金	0	0	0	—	ロ組入資本金	100,000,000	100,000,000	0	0
(3)貯蔵品	1,961,791	2,300,047	△ 338,256	△ 14.7	7 剰余金	△ 1,091,997,906	△ 1,031,029,533	△ 60,968,373	5.9
イ医薬品	1,961,791	2,300,047	△ 338,256	△ 14.7	(1)資本剰余金	21,864,277	20,615,236	1,249,041	6.1
(4)その他流動資産	0	0	0	—	イ受贈財産評価額	13,733,300	13,733,300	0	0
					ロ寄附金	500,000	500,000	0	0
					ハ国県補助金	485,000	485,000	0	0
					ニ他会計補助金	0	0	0	—
					ホ他会計負担金	7,145,977	5,896,936	1,249,041	21.2
計	1,487,388,364	1,522,568,503	△ 35,180,139	△ 2.3	(2)利益剰余金	△ 1,113,862,183	△ 1,051,644,769	△ 62,217,414	5.9
					イ減債積立金	6,500,000	6,500,000	0	0
					ロ建設改良積立金	0	0	0	—
					ハ当年度未処分利益剰余金(△未処理欠損金)	△ 1,120,362,183	△ 1,058,144,769	△ 62,217,414	5.9
					(当年度純利益)	△ 62,217,414	1,645,783	△ 63,863,197	△ 3,880.4
					(前年度繰越利益剰余金)	△ 1,058,144,769	△ 1,059,790,552	1,645,783	△ 0.2
					(その他未処分利益剰余金変動額)	0	0	0	—
					(当年度未処分利益剰余金)	△ 1,120,362,183	△ 1,058,144,769	△ 62,217,414	5.9
					計	1,487,388,364	1,522,568,503	△ 35,180,139	△ 2.3

負債及び資本の部				
区 分 科 目	金 額			増 減 比 率
	令和元年度	平成30年度	増 減	
3 固定負債	765,023,712	791,097,645	△ 26,073,933	△ 3.3
(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	399,139,559	430,024,972	△ 30,885,413	△ 7.2
(2)リース債務	0	952,200	△ 952,200	皆減
(3)引当金	365,884,153	360,120,473	5,763,680	1.6
イ退職給付引当金	361,338,653	355,574,973	5,763,680	1.6
ロ修繕引当金	4,545,500	4,545,500	0	0

別表5

◎総収支比率

$$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$$

※

総収益と総費用を比較したもので、率が高いほどよいことを示す数値

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
比 率	95.0%	100.1%	95.0%

◎医業収支比率

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

※

医業のみの収支を比較したもので、率が高いほどよいことを示す数値

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
比 率	82.6%	89.3%	80.7%

<キャッシュ・フロー計算書の読み方の例>

	業務活動	投資活動	財務活動	適用
パターン1	+	－ (△)	－ (△)	本業の業績は概ね好調であり、その資金を投資活動等に充てている状態。比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン2	+	－ (△)	+	本業の業績は概ね好調であるが、投資活動の資金を借入に依存している状態で、今後の返済負担が想定される。
パターン3	－ (△)	+	－ (△)	本業の業績が厳しく、投資活動等を抑制し、借入金の返済を行っている状態。
パターン4	+	+	－ (△)	現在の事業でまだ稼げているが、財務体質改善等を行うことで、現状を変革しようとしている状態。